

風水害行動計画（タイムライン）

時系列 イメージ		防災気象情報等 気象庁・長野県	山ノ内町	説明	自主防災組織		住民のみなさん							
					洪水	土砂災害								
	平時		普及啓発活動	特に風水害に注意が必要な時季 ・7月中旬から8月上旬にかけて梅雨前線、夏の前線活動（新潟・福島豪雨） ・9月から10月にかけての台風接近（令和元年東日本台風第19号）	研修・訓練	研修・訓練	非常食等の備蓄 ・非常食 一人1日3食3日分（できれば1週間分） ・飲料水 一人1日3リットル3日分（できれば1週間分）							
	1日前	警戒レベル1 早期注意情報	避難場所（避難所）開設の判断	気象庁の「 早期注意情報（警報級の可能性【高】） 」は、積乱雲や線状降水帯などの小規模な現象に伴う大雨等から、台風・低気圧・前線などの大規模な現象に伴う大雨等までを対象に発表されます。対象地域に該当する場合は注意が必要です。	関係者間で連絡方法の確認 避難場所の開設や避難支援の任務分担を確認します。	関係者間で連絡方法の確認 避難場所の開設や避難支援の任務分担を確認します。	最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。 停電に備える 車に給油する 家の周囲を確認します							
	12時間前	警戒レベル2 大雨注意報	災害警戒本部設置 災害対策本部設置	町と自主防災組織、関係機関は情報を交換し、対応を確認します。	避難場所（避難所）開設準備 避難行動要支援者と打合せ	避難場所（避難所）開設準備 避難行動要支援者と打合せ	避難行動の確認が必要です。 防災マップを確認、家族等で連絡体制の確認をします。 用水取入口等を閉じるなどの対策をします。							
	3時間前	大雨警報 線状降水帯発生可能性	大雨に関する警戒を呼び掛けます		避難場所（避難所）開設 開設 ・沓野郷土文化保存伝習館 ・湯田中共益会館 ・上条研修センター ・ほなみふれあいセンター ・よませふれあいセンター 町は開設情報を広報します。 個別避難計画に基づく避難行動要支援者の避難支援を開始	自主的判断による 避難場所（避難所）開設 ・開設時は町へ報告 0269-33-3111 町は開設情報を広報します。	洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住いの高齢者等は、町長の発令する「高齢者等避難」を待たずに自主的に災害リスクに応じて安全な場所へ避難しましょう。 「避難」とは「難」を「避」けると言う意味です。 避難行動には次の行動が含まれます。 ・安全な親戚や知人宅へ避難 ・開設中の避難場所（避難所）へ避難（問0269-33-3111） ・安全な場所で車中避難 ・屋内安全確保							
		志賀高原熊の湯 時間雨量30mm超	各種情報発信 台風・前線活動に伴う ・雨量情報 ・水位情報	志賀高原熊の湯の雨量が30mm/h以上になると夜間瀬川の水位が1.4mに達するおそれがあります。 志賀高原の降雨は約2時間ほどで星川付近へ流れ下ります。周囲の雨が弱くても志賀高原の雨量に注意が必要です。 昭和61年、志賀高原熊の湯で最大55mm/hの時間雨量を記録しました。										
		夜間瀬川水位 1.4m到達 避難判断水位	水位が上昇し1.8mに達することが予測される場合で1.4mに到達 警戒レベル3 洪水に対する「高齢者等避難」を発令します	町長が洪水に対する「高齢者等避難」を発令した場合、洪水浸水想定区域で避難に時間を要する人（高齢者等）は、安全な場所へ避難を始めます。 志賀高原熊の湯の雨量や夜間瀬川の水位、土砂キキクル（紫）と土砂災害警戒区域の重なり状況は「長野県河川砂防情報ステーション」で確認することができます。 <table><tr><th>河川名</th><th>夜間瀬川</th></tr><tr><th>観測局名</th><th>星川</th></tr><tr><td> 氾濫危険[m]</td><td>1.80</td></tr><tr><td> 避難判断[m]</td><td>1.40</td></tr><tr><td> 氾濫注意[m]</td><td>1.30</td></tr><tr><td> 水防団待機[m]</td><td>0.60</td></tr></table>				河川名	夜間瀬川	観測局名	星川	氾濫危険[m]	1.80	避難判断[m]
河川名	夜間瀬川													
観測局名	星川													
氾濫危険[m]	1.80													
避難判断[m]	1.40													
氾濫注意[m]	1.30													
水防団待機[m]	0.60													
2時間前 実況	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報	土砂災害警戒区域と土砂キキクル（紫）が重なっている区域に対し 警戒レベル4 土砂災害に対する「避難指示」を発令します	土砂災害警戒情報が発表されても、「避難指示」を発令しない場合 ・土砂キキクル（紫）が居住地域でない場合 ・一過性のゲリラ豪雨の場合 土砂災害警戒区域 住民の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域 土砂災害特別警戒区域 建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域 令和元年東日本台風では横手山、奥志賀で土砂キキクル（紫）が出現しました。		土砂キキクル（紫）の区域からの避難者を受け入れるため、町は避難場所（避難所）開設をお願いします。 避難場所（避難所）開設 町は開設情報を広報します。 個別避難計画に基づく避難行動要支援者の避難支援を開始	土砂災害警戒情報が発表されたら「長野県河川砂防情報ステーション」で土砂災害危険度を確認する。 土砂災害危険度＝土砂キキクル（紫）と土砂災害警戒区域と重なっている区域が土砂災害の危険な場所。 該当する場合は、該当区域から避難が必要								
	夜間瀬川水位 1.8m到達 氾濫危険水位	水位が1.8mに達し更に水位が上昇する場合 警戒レベル4 洪水に対する「避難指示」を発令します	洪水浸水想定区域で立ち退き避難が必要な場合は避難を開始します。 令和元年東日本台風では夜間瀬川星川の水位が1.41m（避難判断水位）に達しました。			洪水：浸水深や家屋倒壊等氾濫想定区域で立ち退き避難が必要な場合は避難を開始する 洪水の危険な場所では全員避難行動								
災害発生	大雨特別警報	警戒レベル5 「緊急安全確保」を発令	既に災害が発生しているかどこかで既に発生していてもおかしくない状況 令和元年東日本台風では、志賀高原熊の湯の雨量が50年に一度の値に達し「大雨特別警報」が発表されました。	洪水発生	土砂災害発生	直ちに命を守る行動をとる								